

平成28年第5回「市民のためのがん治療の会」講演会

共催：伊勢赤十字病院

これがセカンドオピニオンだ！

日時：平成28年10月15日（土）

13：30～16：30（受付開始：13：00）

場所：伊勢赤十字病院 多目的ホール やまだ

参加費：無料

定員：200名（先着順で200名に達した時点で締切）

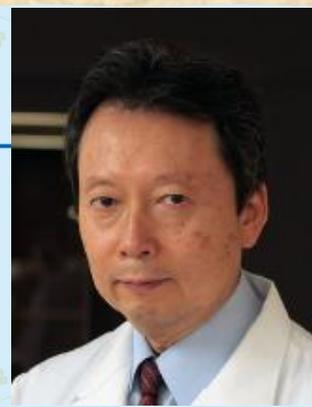
ご参加者に「がんは放射線でここまで治る 第二集」進呈

Part1

切らずに治す舌がん治療の取組み

伊勢赤十字病院放射線治療科部長

不破 信和

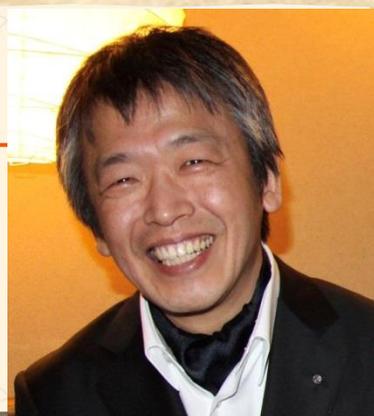


Part2

わたしは言葉を失わなかった

患者

石川 賢一



Part3

これからのがん医療を考える

国立病院機構北海道がんセンター名誉院長

西尾 正道



後援：三重県 伊勢市 伊勢地区医師会 志摩医師会 三重県看護協会
三重県薬剤師会 三重県医療ソーシャルワーカー協会

問われるセカンドオピニオンの質

命が助かれば、どうなっても良いですか？

市民のためのがん治療の会のセカンドオピニオン情報提供は、相談者の様々な事情を考慮して最適の治療法を選択し、最適な医師をご紹介します。

石川さんの話：「最初は辛い物を食べると舌の裏側が異様に沁みるようになり、鏡で見ると口内炎とは明らかに違う白いできものがあった。がんかも知れないという嫌な予感はありませんでしたが、現実と向き合う怖さから2年ほど放置してしまいました。顎の下が腫れてきたときに一度病院を受診し、セカンドオピニオンも数か所受けたが、手術の後遺症が大きいことを知り、治療の決心がつかなかった」

最終的にはよだれが出っぱなしで、ろれつも回らず、激しい痛みでまともに考えることもできない、ただ寝ているしかない状態まで悪化。

こうした中、「市民のためのがん治療の会」を通じてのセカンドオピニオン情報で不破医師に辿りつく。

がんは舌全体から口蓋や顎の下まで広がり、既に手術は困難な状態だったが不破医師は治療できると判断、動注療法と放射線照射を行い5カ月でがんは画像から消えた……。

(週刊文春 平成28年9月8日号より)

案内図



●電車

近鉄伊勢市駅

JR参宮線 伊勢市駅

徒歩 15分

●自動車

駐車場をご利用いただけます。

駐車するには駐車券が必要ですので、受付で駐車券を受け取ってください。

【お問い合わせ先】

市民のためのがん治療の会 電話090-3138-9165

伊勢赤十字病院（担当:企画課）電話0596-28-2171（代表）